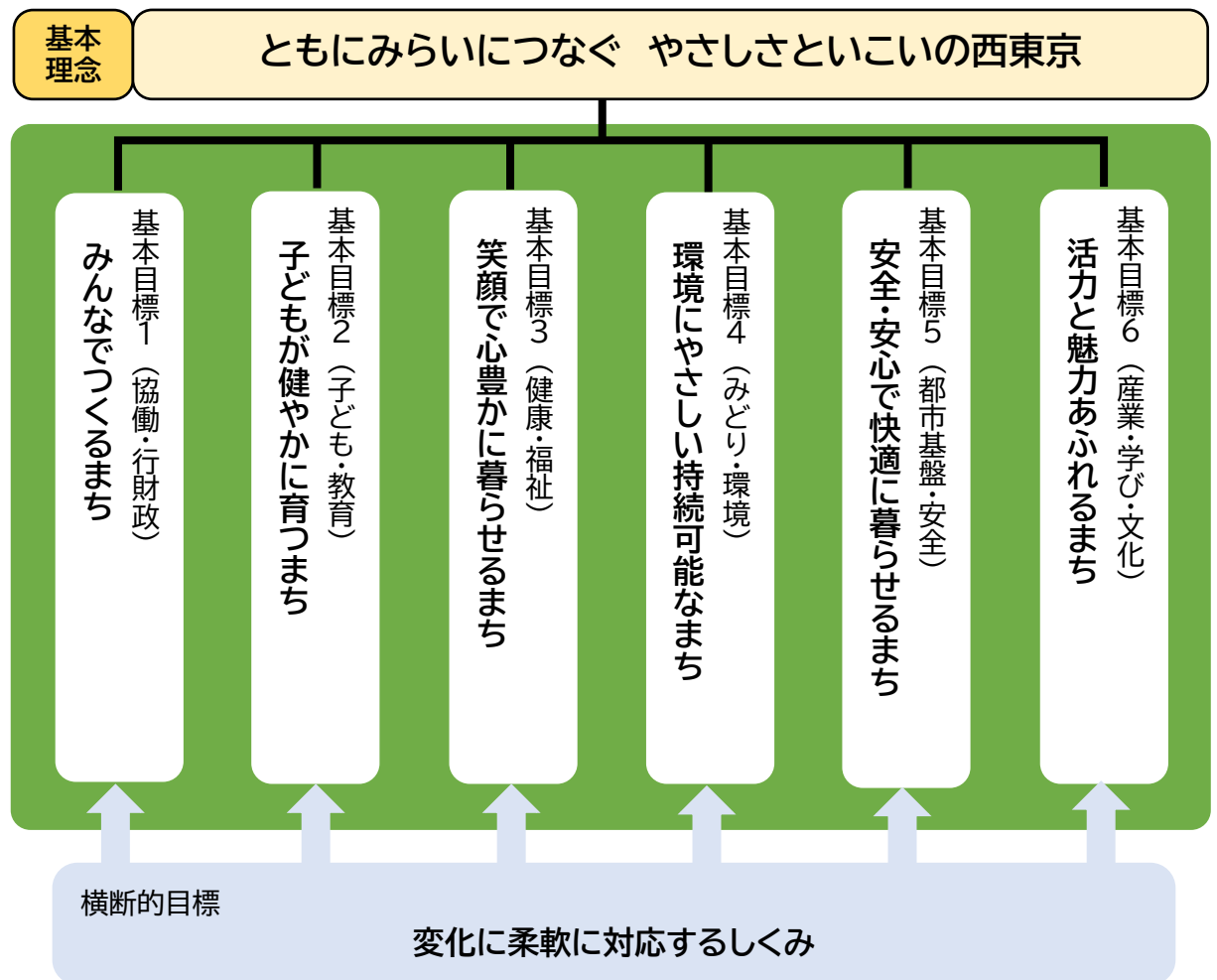


分野	基本目標（案）				委員意見
	修正前		修正後		
協働・行財政	みんなでつくるまち	「みんなでつくるまち」とは、一人ひとりがまちづくりの主役として、互いに認め合いながら、それぞれの希望に応じた居場所と役割を見つけられるまちです。 一人ひとりが人や地域とつながり、誰もが活躍できるまちを目指します。 また、価値観や生き方などの多様性を受け入れ、他者を尊重する社会を実現することで、一人ひとりの思いが尊重されるまちを目指します。 行政は、市民との協働により多様化・複雑化する市民ニーズや地域課題に対応し、行政サービスの向上に努めることで、持続可能で市民満足度の高い自治体運営を目指します。	みんなでつくるまち	市民がまちづくりの主役として、互いに認め合いながら、<u>一人ひとりがつながりを大切にし、市民自らが目指すまちを築いていける</u>まちを目指します。 そこでは、一人ひとりが人や地域とつながり、<u>それぞれの希望に応じた居場所や役割を見つ</u>け、自分らしく活躍することができます。また、価値観や生き方などの多様性を受け入れ、他者を尊重する社会の中で、一人ひとりの思いが尊重されるようになります。 行政は、<u>市民や市民活動団体、事業者等</u>との協働により、多様化・複雑化する市民ニーズや地域課題に対応するとともに、よりよい行政サービスを提供し、持続可能で市民満足度の高い自治体運営を行っています。	・SDGsを付加することを提案する。利点として世界の中の西東京市を実感でき、2030年以降への期待感を生む。具体的には、他の目標と同様に羅針盤を入れる。 ・“みんなでつくる”というそもそもの目標に絞って表現した方が良いように思う。居場所、役割、多様性の受け入れ、他者の尊重、等々は、皆でつくったまちの姿を表現しているように感じる。 （修正案）「みんなでつくるまち」とは、市民がまちづくりの主役として、一人ひとりがつながりを大切に、地域の活動や取り組みに積極的に関り、市民自らが目指すまちを築いていけるまちです。行政は、市民との協働により多様化・複雑化する社会における市民ニーズや地域課題に対応し、行政サービスの向上に努めることで、持続可能で市民満足度の高い自治体運営を目指します。 ・「市民との協働により多様化・複雑化する」の部分に「市民活動団体や地縁組織」などの視点が含まれることを希望する。理由は、今現在も「一人ひとり」の「個人」だけと協働しているわけではなく、市民活動団体や自治会町内会が行政と一緒に地域課題の解決に向けて動いている事例があるから ・（修正案）行政は、～に対応し、地域企業と連携し、行政サービスの向上に～
子ども・教育	子どもが健やかに育つまち	「子どもが健やかに育つまち」とは、地域全体で見守られながら、子どもたちが人間としての尊厳をもって自分らしく心身ともに健康に育つことができ、様々な社会の変化に応じた生きる力を身につけることができるとともに、全ての子育て世帯がいきいきと住み続けられるまちです。 様々な課題を抱える子どもや子育て家庭を地域や社会で見守り支えることで、子どもがのびのびと成長できるまちを目指します。また、子どもの発達段階やライフステージに応じた、妊娠期からの切れ目のない支援を行うことで、安心して子どもを産み育てることができ、次世代を担う子どもたちが個性を伸ばしながら豊かな未来を育むことができるまちを目指します。	子どもが健やかに育つまち	子どもたちが人間としての尊厳をもって自分らしく心身ともに健康に育つことができ、様々な社会の変化に応じた生きる力を身につけることができるとともに、全ての子育て世帯がいきいきと住み続けられるまちを目指します。 そこでは、様々な課題を抱える子どもや子育て家庭が地域や社会で見守り支えられ、子どもが<u>若者へ</u>とのびのびと成長し、<u>未来に向かって夢を描くこと</u>ができます。 また、子どもの発達段階やライフステージに応じた妊娠期からの切れ目のない支援により、安心して子どもを産み育てることができ、次世代を担う子どもたちが個性を伸ばしながら、豊かな未来を育むことができます。	・SDGsを付加することを提案する。利点として世界の中の西東京市を実感でき、2030年以降への期待感を生む。具体的には、「SDGs3を羅針盤として子どもから高齢者の参画を推進し」を追加する。 ・「若者」という言葉を入れたい。全体を通して「若者」というワードがない。子どもが若者へののびのびと成長し、若者が自己肯定感をもち、明るいミライに向けて夢を描き、安心してオトナへの準備を整えることができる。それをしっかり今の大人一人ひとりが作っていくべきだと考える。
健康・福祉	笑顔で心豊かに暮らせるまち	「笑顔で心豊かに暮らせるまち」とは、年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが個性と多様性を尊重され、住み慣れた地域で自分らしく健康で元気に歳を重ねられるまちです。 地域の中で人と人がゆるやかにつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、高齢者、障害者、子ども等といった区別なく、誰もがその人の状況にあった支援が受けられる全世代・全対象型の包括的な支援体制を構築することで、誰もが安心して生き活きと暮らすことができるまちを目指します。 また、個人だけでなく地域全体での健康づくりを推進し、いつまでも心身ともに充実して過ごせるまちを目指します。	笑顔で心豊かに暮らせるまち	年齢や障害の有無等にかかわらず、誰もが個性と多様性を尊重され、住み慣れた地域で自分らしく健康で元気に歳を重ねられるまちを目指します。 そこでは、人と人がゆるやかにつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて互いに<u>支え合</u>っています。また、高齢者、障害者、<u>子ども・若者</u>等といった区別なく、誰もがその人の状況にあった支援を受けられ、安心して生き活きと暮らすことができます。 さらに、個人だけでなく地域全体で健康づくりに取り組み、<u>一人ひとりが</u>いつまでも心身ともに充実して過ごすことができます。	・SDGsを付加することを提案する。利点として世界の中の西東京市を実感でき、2030年以降への期待感を生む。具体的には、「SDGs3を羅針盤として笑顔で心豊かに暮らせるまち」として、と変更する。 ・「高齢者・障害者・子ども等といった区別なく」とあるが、この3つのワードと「等」を付けることによって「すべての人」が対象だと理解はできなくもないが、どうしても、学生や若者、外国籍の人、DV被害者で住民票を移せない人などマイノリティは？と感じる。もっと、違う表現ですべての人を包括しているという文章にできないか。ワードを使わない方が良い場合もあると思う。
緑・環境	環境にやさしい持続可能なまち	「環境にやさしい持続可能なまち」とは、農地や公園、緑地などのみどりが身近に感じられ、一人ひとりが環境に配慮した暮らしを實踐し、地球規模の環境問題に取り組み、次世代によりよい環境を残すことができるまちです。 今あるみどりを保全・活用するとともに、新たにみどりの空間を創出することで、身近にみどりを感じることができ、ほっとできるまちを目指します。 また、市民・事業者等の多様な主体が連携して、農地などのみどりの保全や脱炭素社会の実現に向けた取組を進め、持続可能な資源循環型社会を実現することで、未来を見据えた環境への負荷が少ないまちを目指します。	環境にやさしい持続可能なまち	農地や公園、緑地などのみどりが身近に感じられ、一人ひとりが環境に配慮した暮らしを實踐し、地球規模の環境問題に取り組み、未来を見据えた環境への負荷が少ないまちを目指します。 そこでは、今あるみどりが保全・活用され、新たなみどりの空間が<u>生まれ</u>、身近にみどりを<u>楽しみ、うるおいや安らぎを感じる</u>ことができます。 また、持続可能な資源循環型社会を実現し、次世代によりよい環境を残していくために、市民・事業者等の多様な主体が連携して、農地などのみどりの保全や脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。	・SDGsを付加することを提案する。利点として世界の中の西東京市を実感でき、2030年以降への期待感を生む。具体的には、「SDGs13、15を羅針盤として環境にやさしい持続可能なまち」へ、に変更する。また、「環境にやさしい持続可能なまち」とは農地や公園、緑地などのみどりが身近に感じられるSDGs包括目標一人ひとりが環境に拝領しや暮らしを實踐し・・・へと修正する。
都市基盤・安全	安全・安心で快適に暮らせるまち	「安全・安心で快適に暮らせるまち」とは、災害リスクや犯罪などに適切に備え、日々の暮らしの中での安全が確保され、誰もが安心して暮らし続けられるまちです。 都市と自然環境とのバランスのとれたまちづくりを進めます。また、駅などの拠点をつなぐ利便性の高い道路・交通網の整備を行うことで、誰もが快適に過ごせるまちを目指します。 また、市民の防災・防犯への意識を高め、地域がつながり支えあうことで、誰もが安心して住み続けられるまちを目指します。	安全・安心で快適に暮らせるまち	災害リスクや犯罪などに適切に備え、日々の暮らしの中での安全が確保され、誰もが安心して暮らし続けられるまちを目指します。 そこでは、都市と自然環境とのバランスのとれたまちづくりや、駅などの拠点をつなぐ利便性の高い道路・交通網の整備が進められ、誰もが快適に過ごしています。 また、一人ひとりが防災・防犯への意識を高め、地域の中でつながり支えあいながら、安心して住み続けることができます。	・SDGsを付加することを提案する。利点として世界の中の西東京市を実感でき、2030年以降への期待感を生む。具体的には、「SDGs11を羅針盤として「安全・安心で快適に暮らせるまち」とは感染症や災害リスクや犯罪など危機管理を充実し適切に備え、と変更する。 ・3段落目の冒頭を「さらに」または「あわせて」に修正する。
産業・文化	活力と魅力あふれるまち	「活力と魅力あふれるまち」とは、地域の資源や歴史・文化が活かされ、人々がいきいきと活動し、日々の暮らしの中で楽しみやいきがいを見出せるまちです。 地域住民や事業者等とともに地域経済の活性化を図り、まちの魅力を高め、市内外に発信することで、幅広い年代が楽しく過ごせる、にぎわいあふれるまちを目指します。 また、互いに交流を深めながら芸術文化やスポーツに親しみ、多様な学びの機会を持つことで、誰もが心の豊かさを実感できるまちを目指します。	活力と魅力あふれるまち	地域の資源や歴史・文化が活かされ、人々がいきいきと活動し、日々の暮らしの中で楽しみやいきがいを見出せるまちを目指します。 そこでは、<u>市民</u>や事業者等がともに地域経済の活性化を図り、まちの魅力を高め、<u>まちへの誇りや愛着をはぐくんでいます</u>。また、幅広い年代がにぎわいあふれるまちで、楽しく過ごすことができます。 <u>さらに、</u>互いに交流を深めながら芸術文化やスポーツに親しみ、多様な学びを<u>通して、</u>誰もが心の豊かさを実感<u>しながら暮らしています</u>。	・SDGsを付加することを提案する。利点として世界の中の西東京市を実感でき、2030年以降への期待感を生む。具体的には、他の目標と同様に羅針盤を入れる。 ・産業・文化の分野のみ、「市民」でなく「地域住民」という表記になっている。意図がないのであれば、他の分野と同じ「市民」と表記してはどうか。 ・2段落目に「シビックプライドの醸成」を追加する。

4. 基本目標

基本理念で示した『ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京』というわたしたちの望みを実現するために、分野ごとに目指すべきまちの姿として6つの基本目標を定めます。

また、6つの基本目標の実現に向けて、着実に計画を推進していくためのしくみの視点から、横断的目標を掲げます。



※ 6つの基本目標の説明の後に、以下の横断的目標の説明を追加

○ 横断的目標

変化に柔軟に対応できるしくみ

社会情勢が大きく変化し、市民ニーズが多様化・複雑化する中で、6つの基本目標の実現に向けて、庁内の各部署が分野を超えて横断的に連携し、新たな課題や変化に柔軟に対応していきます。

また、行政・市民・事業者等がその状況に応じて弾力的に協働し、それぞれの力を活かしながら、ともに課題解決に取り組みます。